

# 平成25年度第2回瑞浪市地域公共交通会議 会議録

会議の日時	平成25年7月8日(月)午後1時30分
会議の場所	瑞浪市役所4階全員協議会室
出席者	委員 磯部友彦(中部大学) 松井茂久(岐阜運輸支局:木村治史 代理) 瀨瀬貴広(県公共交通課:松田勲 代理) 伊藤直幸(多治見警察署:加納正男 代理) 山田芳喜(岐阜県バス協会) 山田和洋、橋本 清(以上 平和コーポレーション) 三輪勝彦(瑞浪市デマンド交通システム運行事業者) 大山理晴(瑞浪市連合自治会) 西脇弘司(東濃厚生病院) 勝 康弘(瑞浪市副市長)、伊藤明芳(瑞浪市市民福祉部長) 可知勝宏(瑞浪市教育委員会事務局長) 遠藤三知郎(瑞浪市経済環境部長) 木村伸哉(瑞浪市建設水道部土木課長)
	事務局 成瀬篤(商工課長)、鈴木創造、吉田和史
欠席者	委員 福沢昇(多治見砂防国道事務所) 小椋昭司(多治見土木事務所) 門間實(東濃鉄道) 石井一広(瑞浪市PTA連合会)

## 1. 開会

### 事務局(商工課長)

お時間が参りましたので、これより、平成25年度第2回瑞浪市地域公共交通会議を始めさせていただきます。

私、本日の司会・進行を務めさせていただきます、商工課長の成瀬でございます。宜しくお願ひ申し上げます。

最初に、お手元の資料の確認をさせていただきます。

まず最初に、平成25年度第2回瑞浪市地域公共交通会議と書かれている本会議のレジュメ、次に本会議の出席者名簿と席表が両面刷りになったもの、続いて、平成25年度第1回瑞浪市地域公共交通会議 会議録、資料として資料1番から4番、最後に、瑞浪市地域公共交通総合連携計画策定業務 企画提案書と書かれた、ランドブレイン株式会社様より提出された資料でございます。皆さま、よろしかったでしょうか。

## 2. 会長あいさつ

### 事務局

それでは、レジュメに沿って進めさせていただきます。レジュメの2番、会長あいさつということで、当会議を主催します勝会長からご挨拶を申し上げます。

## 会長（副市長）

みなさんこんにちは。会長の勝でございます。本日は大変お忙しい中、平成25年度第2回瑞浪市地域公共交通会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、第1回の会議におきまして、要綱に色々課題があるのではないかというご意見をいただきましたので、その改正についてのご報告をすることと、今日の午前中にプロポーザル審査分科会を行いまして、瑞浪市の地域公共交通総合連携計画の策定業務にかかる委託業務のプロポーザル審査を行いましたので、そのことについて、またご協議いただくということになっておりますので、よろしくお祈いします。今年度につきましては、この連携計画策定業務がございますので、この後も数回の地域公共交通会議を、詳しい回数は、また後ほど事務局の方からご報告があるかと思いますが、開かせていただかなければならないと思っておりますので、どうぞよろしくお祈いいたします。また、プロポーザル審査分科会の委員の皆様には、午前中に引き続きということで、大変御苦勞さまでございますけれども、慎重なる審議をお願い申しあげまして、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしくお祈いします。

## 事務局

ありがとうございました。それでは、委員の異動についてご報告させていただきます。レジュームの次にあります出席者名簿の8番ですが、東濃鉄道株式会社 取締役営業本部長が栗本様から門間様に代わられましたので、本会議の委員も、そのように変更させていただきました。

続いて、本会議の成立についてご報告申し上げます。本日、出席者名簿の3番、国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所の福沢様から欠席のご連絡をいただいております。同様に、6番の多治見土木事務所の小椋様、8番の東濃鉄道株式会社の門間様、13番の瑞浪市PTA連合会の石井様から欠席のご連絡をいただいております。

また、2番の国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局の木村様は、代理出席ということで運輸企画専門官の松井様にご出席いただいております。同じく、4番の岐阜県都市建築部公共交通課 松田様の代理として、公共交通課 額額様、5番の多治見警察署交通第一課長 加納様の代理として、交通規制係長の伊藤様にご出席していただいております。

本日、19名の委員の内、15名のご出席ということで、過半数のご出席がございましたので、当交通会議が成立しましたことをご報告させていただきます。

それから、当交通会議につきましては、要綱第6条第6項の規定により、原則公開となっておりますので、ご承知をお願いします。

本日の交通会議の議事録署名につきましては、東濃厚生病院事務局長の西脇弘司様をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお祈いします。

## 3. 瑞浪市地域公共交通会議設置要綱の改正について

### 事務局

それではまず報告ですが、先程会長のあいさつでもありましたように、前回の会議で、当会議の要綱につきましてご指摘がございましたので、それに基づいて要綱の改正をいたしましたので、改正点について、担当の方からご報告申し上げます。

（第1回会議録、資料1に基づき説明）

ただいま要綱の改正について、前回議事録の説明も合わせてご報告させていただきましたが、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

## 4. 瑞浪市内の公共交通状況について

### 事務局

それでは、続きましてレジュメの4番に進まさせていただきます。これから連携計画の策定について、瑞浪市の公共交通の状況について分析を加えて行くところではありますが、現在の瑞浪市の公共交通の現状について、事務局でコミュニティバスを中心にまとめたものがございますので、基礎情報としてご説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

(資料2に基づき説明)

ただいま、瑞浪市の公共交通の現状について説明させていただきましたが、これから連携計画を策定するに当たって、現状の分析、それから再編ということになるかと思えます。ただいまの説明で、何かご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

## 5. 協議事項

### 事務局

それでは、レジュメの5番の協議事項に入らせていただきます。要綱第6条1項の規定により、協議事項につきましては、議長を会長が指名することとなっておりますので、ご指名をお願いいたします。

### 会長

議長につきましては、副会長であります中部大学教授の磯部先生にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### 事務局

それでは、磯部先生よろしくお願いいたします。

### 議長（磯部先生）

それでは、議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### (1) 連携計画策定業務に係る委託事業者の選定について

#### 議長

まず、議題1「連携計画策定業務に係る委託事業者の選定」について、事務局より説明をお願いします。

#### 事務局

(資料3に基づき説明)

#### 議長

ただいま、事務局より、議題1について説明がありましたが、この説明につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問はございませんでしょうか。

山田（平和コーポレーション）

企画提案書について質問していいでしょうか。

現状把握が間違っている部分と、市の考え方として、スクールバスの編成と今回の提案が重なって来るのかどうかという話で、前回の会議でも様々な意見が出ていたかと思えますけれども、この提案書の中には、スクールバスの編成もコミュニティバスの部分と重ねて行うというようにかいてあるものですから、そのものを検討しておいて全く方針が無いのであれば無駄な行為になりますので、どういう考えでこの範囲を指定されているのか、または、向こうは全くこの状況を知らずにこのような提案書を出してきたのかという確認なのですが。

## 議長

ここの企画提案書というのは、参考までに今日の会議に出されている物かと思えます。プロポーザル審査の方はどうだったかという点、内容よりも、どの業者が、力があるか無いかというのを見たということで、決めたということだと思いますので、あくまでそのために出した資料でございますから、市が出した資料ではないので、そのように見てもらえればと思います。

4つの業者さんの相対的な比較から一番になったというもので、絶対これがよいということで決めたものではないというプロポーザル審査の位置付けかと思えますので、そのように見ていただければと思います。

ただ、内容的には、良いとか悪いとかあるかと思えますので、あくまで業者さんから持ってきたものでありますので、ただ業者さんとこれから一緒になってやっていきますので、そこでまた色々な意見調整をして、やっていくことになると思います。

私が答えてしまっただけはおかしいのですが、事務局から、今の質問に対しての考えをお願いします。

## 事務局

今、磯部先生の方から説明をいただきましたが、プロポーザルですので、コンペと違って、この提案をそのまま実行すると言うものでは無しに、業者の熱意、力量、調査能力等について比較検討して点数を付け、今回の場合は4社の中でランドブレインさんが一番業務をするのがふさわしいということで選定されたものでございます。従いまして、どのような形で調査をし、どうしていくかということについては、この優先交渉権者になられたランドブレインさんと協議をし、その中で決めて契約に結び付けるという形になるかと思えます。

ですので、今ご指摘をいただいた件については、調査をする前からこのような方向性にするということでは無しに、この中の提案頂いた調査の仕方、分析の仕方を採用しながら、現行の公共交通の在り方、望ましい方向について分析し、どうしようという結論に出していくわけですので、ここに書いてあることをそのまま結論付けるわけではない、というように認識しております。

## 山田（平和コーポレーション）

説明ありがとうございます。よくわかりました。ただ、一つお願いがあるんですけども、本来、こういうものをプレゼン、というか企画を作っていた前にも、当然、骨格というものがあって企画が提案されるべきだと思うんですけども、その部分が、この会議を経てやられるかどうかという。何かというと、業者丸投げというような提案書が出てくるような会議では意味が無いということ、先日の運輸局の説明会でもそのような話がありましたので、全く丸投げでは良くないと、市の考え方を、骨格をこの会議で決めた上でこのような策定業務を行っていかないと、何が悪いのか悪いのかという話が、臨むべきものがわからなくなってしまうのが、非常に厳しいのかなということと、市民アンケートを通じて骨子というのが固まって来ると思えますので、その間に時間等入れていただくのが本来の会議ではないかと思えます。以上とさせていただきます。

## 会長

おっしゃる話はよくわかります。最初に冒頭で私がお話しさせていただきましたように、今年度につきましては、地域公共交通会議を数回開かせていただくと話させていただきましたが、と

いう場所で、当然、この会議としてどうしていくかという場を持ちたいと考えておりますので。この中にははっきり書いていないかもしれませんが、当然決定はここでしていきますので、この中でやっていくというようなことになります。

あと、最初の事実認識の違いというのは、私も当初、さっき挙げましたお話も、いろんな白紙の面でこういう条件がある中でどのようにやっていけるかというプレゼンを受けましたので、いろんな向こうの提案があって当たり前だというように私も理解しておりますので、その中で審査分科会としては、点数を付けましたらこの業者になったということですので、これでは協議調整をしながらきちっとしたものにしていくと、その時には当然、学校の統合準備委員会の話も聞くということになりますし、アンケート調査をして市民の方の意見を聞くということにもなりますし、それから地域や施設の利用者の意見を聞くというようないろんなことが出てくるかと思えますので、その中で、やはりこの地域公共交通会議として、どんな連携計画としていくかというのが、決定されてくると思っておりますので、その中でみなさん、何回か出てきていただかなければならないかと思えますけれども、ご協力をよろしくお願ひしたいと思えます。

#### 議長

今の意見でよろしいでしょうか。ありがとうございます。他に何か、これからこの計画策定業務をお手伝いいただく業者を決めるんですけれども、逆に何か業者さんに注文等ございましたら、この委員会に、何かお気づきのことがございましたら。ランドブレインさんをお願いすることを決定するということでございますから、中身についてはおいおいまた一緒になってやっていくということでございます。何かございますでしょうか。よろしいですか。

それではお諮りします。議題1、連携計画策定業務に係る委託事業者の選定について、原案のとおり、つまりランドブレイン株式会社をお願いするということでご承認いただくということで、よろしいでしょうか。

#### 委員

異議なし。

#### 議長

異議なしと認めます。議題1については、原案のとおり承認されました。

## (2) 各種アンケート調査の実施について

#### 議長

続きまして、議題2、各種アンケート調査の実施について、事務局より説明をお願いします。

#### 事務局

(資料4、企画提案書に基づき説明)

#### 議長

ありがとうございます。ただいま、各種アンケートの実施について、資料4にありますように、3つの調査は業者選定の時からの条件としてあったものでございますけれども、それに対して追加を出された業者もいまして、今回お願いする事業者からは、資料7ページのような追加提案ができますよ、ということです。ですから、今日お諮りしたいのは、アンケート3つはやって行くということで、2番目の事業者提案というのも、可能性としてあるという、中身がどんなことをやるのかははっきりしていないと会議の中ではやるやらないを決めることとは思いますが、そういったものが出てきていますと言う、2番目の事業者提案事項というのは、こうい

う調査をやる可能性があるというご紹介程度かなということですが、これで皆さんまたご意見等ございましたら、いかがでしょうか。いずれにしても時期的に、今日の4つともプレゼン聞いてましたけれども、みんなスケジュールは厳しいですね。早く決まって早く動かないとなかなかできないと思います。

### 山田（岐阜県バス協会）

特にやること自体問題はないんですけれども、地域住民アンケートの調査の場合、特に都市部と過疎地域というか、その辺で地区別にして、いわゆるどのようなアンケート方式にするかわかりませんが、地域の意見も吸い取れるような散布する選び方をやっていただいて、地区にあったサンプル数がある程度は集めないと、その地区の意見が反映されないものですから、その辺を考慮してやっていただきたい。それと、この中には利用者アンケート調査、路線バスとかコミュニティバスとか何にも書いていないんですけれども、これは提案された方をやるという趣旨なのか、その辺を市の方がどういうつもりなのか今確認したいかなと。以上です。

### 議長

事務局何かありますか。

### 事務局

今回この3つのアンケートにつきましては、仕様に規定してありますようにやるということは確実でございます。内容については、今日プレゼンテーションで頂いた内容を基に、今後市の方と、事業者、磯部先生の方で詰めていくということでご一任いただきたいと思いますけれども、基本的にここに提案のあった内容、今おっしゃった居住地等の属性が、分かって地域のニーズが把握できるようにというご意見、それから、バスの利用者のアンケートについては路線バス、コミュニティバス、これでアンケートを取って行きたいというように考えております。基本的にこの業者の提案を基に、今後詰めていきたいと考えております。

### 議長

よろしいでしょうか。後いかがでしょうか。

### 松井

住民アンケートということですが、これは業者さんをお願いということですが、アンケート調査の内容の設計については、専門業者さんでそれなりにしっかり行っていただけるかと思っておりますけれども、それをどうやって出して回収するか、という所で大分サンプル数が変わってきてしまうので、せっかくいい内容でも、サンプルの集まりが悪いと、ちゃんとした分析ができない可能性があるんで、そこはしっかりやっておいた方がいいかと思っております。

あと、もしこのアンケートを来年度以降フィードバックしていくようなことにするのならば、住民の方のご住所だとかお名前、こういったものも記名式でできるかどうか検討していただけたらと思います。

### 議長

ありがとうございます。調査のやり方で、サンプル数の話もありましたし、実際に調査票をどのように渡して、どのように回収するかということも色々な方法があるかと思っております。ですから、単に郵便で送ると、行政は住民の情報を持っておりますので、アンケート調査がやりやすいと、郵便で送ってやるか、地域の組織を使ってやるですとか、そんな話もあるのかなと思っております。いろんな方々のご協力を得て、やるとよりいいものに、回収率の高くて、いいものができるかなという。それで、今おっしゃられた2番目の問題は結構、研究ベースも色々あるんですけれども、どういうことかという、同じ人に、極端な話、使用前、使用后、みたいな話なんですけれども、今の状態のままの話を聞いてて、何かを変えたと、町の何かのシステムを変えたら、どのように

その人が変わったかという。町全体で変わったというのを見るのも大事なんですけど、一人の人がどのように変わったのかを見て行くと、いろんな事がみえてくるのではないかなと思うんですけども、難しいですが、うまく設計すると、良いサンプルが出てくると思います。全員聞くのは難しいんですけど、そんな話と、単に一回限りのアンケートではなくて継続的なアンケートとかですね。いろんなやり方が、方法論としては研究ベースでもありますので、参考にさせていただけたらと思います。というわけで、何か事務局ではないですか。

## 事務局

その辺につきましては、磯部先生、それからランドブレインさんも含めて相談させていただいて、より良いアンケート、それから、来年度以降に生かせるよう念頭において設計していきたいと思っております。

## 山田（平和コーポレーション）

アンケートなんですけれども、特に利用者アンケートの、現状使われている方で、ある系統においては、ほぼ小中学生が九十何パーセントという系統もあるわけです。アンケートがどのようにというのは、他の県内の市町村の話で、アンケートをとったらすべて子どもだったと、結局アンケートの内容が現状の利用者の声ではあるけれども、それが本当に住民の声なのかという問題も出てます。ということで、系統によっては当然、利用者アンケートが成立するもの、成立しないものというものが出てくると思いますし、その部分については十二分に配慮していただきたいということと、アンケートによっては、回答率の下がるアンケートはやはりすべて記入型という、選択型でない、丸を打つですとか、選ぶという行為なら非常に簡単なものも、アンケートを見られたら、見られた瞬間に要らないと言われて突き返されるのが大体アンケートというもので、特にバスに乗られているお客様に、降りてから取られるのか、乗ってる最中に渡すのかその辺はわかりませんが、当事業者でも他の所でもありますけれども、やはりアンケートというのは書いてもらって、声を吸い上げて初めて効果があるんですけども、見た瞬間に要らないと言われるようなアンケートの質題では本末転倒だと思いますので、やはり抽出数と言うか、物は大切にしていきたいなど、内容については一任をさせていただきますが、十二分に配慮していただきたいと思います。あと、瑞浪市においては地域の住民アンケートというものと、地域のまちづくり協議会や、地域の区長を中心にして、毎年住民のコミュニティバスに関する調査というのを毎年行われていると思います。両方で、住民の直接の声と、エリアの地域の声と、まちづくりの立場での声とミックスすることによって、この地域住民アンケートというのは非常に効果があるのかなと思いますので、今までのものも上手く使っていただいて、精度の高いデータにしていきたいと思いますし、施設アンケートについては、この内容からすると、駅前の施設のことだけ抽出するのかなという若干心配が、固まっていますというように書いてあったので、施設の利用者によっては市街地、駅前周辺で無い所で乗降者数があるところもありますので、その辺も含めてしっかりとした調査を行っていただきたいと、要望とさせていただきます。

## 議長

ありがとうございました。何か事務局から如何でしょうか。

## 事務局

今の1つ目のアンケートの回答者の属性ですが、当然学校へ通っている子どもさん達と、それから一般の方とでは、回答、利用の仕方が違いますので、その辺については例えば、子どもさんについては教育委員会と協議させていただくなどして、属性の偏りが結果を左右しないように配慮したいと思います。それから、こちらの追加提案では、まちづくり協議会等のヒアリング調査、それから運行事業者さんの追加調査というものも追加で提案して下さっていますので、その辺もアンケート以外に意見を伺うような機会を作ると、その可能性についても検討したいと思います。それから、施設利用者のアンケート調査につきましては、地元でどこがどのように利用されているというようなことがわかりますので、その辺、どこの施設を対象とするということについては、

業者さんと事務局の方でよく協議したいと思っております。以上です。

#### 議長

よろしいでしょうか。今は小中学生がたくさん乗っていらっしゃるという話がありますので、そこは慎重にやることだと思いますし、後は、前から言っているように中学校区の再編というのも視野に入れながら、これから仕事をやって行くということになりますので、そうした時に、何が言いたいかという、今の中学生は、もう3年後の話だと関係ないですね。なので、次の世代の話になって来るんだろうなと、それも大きく変わって来るのかと。それも上手く、これから中学生になる人達、その親御さんの話をどうやって上手く整理して行って行かないかやいけないのかなと。それが今回3つの調査の中のどれに当たるのかという話と、まちづくりの話、それからさっきの学校再編の話と、どんな所で聞けるのかなと感じてますので、どの辺をうまく活用するのかなと。今日出てきたのは、まず広く意見を聞けるとしたらこういうような形なんですけれども、特定のテーマに関していくと、それに対する利害関係者のグループに直接聞かないといけないのかなというのがありますので、そこも上手くしていただけるといいのかなと思います。

何か他に後はありませんか。

#### 顧問

この内容では少しわからない部分もあるので何とも言えないんですけれども、アンケート調査を行ってニーズの把握をしようというのがここにあるんですけれども、アンケート調査を実際に行った後に、路線を再編していただいた時に、実際にこうした路線があって欲しいという住民の要望があったとしても、その声があった所で実際にそれを行動に移せるか、というのがわからないと思うので、アンケートの内容に、どういう路線があった方がいいのかというのを聞いた上で、更にその路線を作った後に実際に利用したいかどうかということも合わせて聞いていただけると、より実効性のあるアンケートになるんじゃないのかなと思います。

#### 議長

おそらく、今のご提案は利用者アンケートよりも地域住民アンケートか、そういった方の事かなと。実際使っていないけど要望を聞くと言うようなことだと、使いもしないのに要望だけ聞くと言う項目が一番扱いにくいですよ。じゃなくて、自分が使うためにはどうしたらいいかというようなご提案があると、中々役に立つということだと思いますので、その辺ですよ。その辺を上手くやって行かないと、使わないのに要望だけ挙がって来るというのが一番つらいですよ。そこは上手く考えて行けたらと思います。それはまた、業者さん辺りが苦労話を良く知っていると思いますので、色々と調整して行っていければと思います。

あとよろしいでしょうか。では、難しい議題ではございますけれども、必ず調査をやって行くというので、これから内容はまた詰めて行くということですが、ご承認いただきたいと言うことですので、如何でしょうか。

#### 委員

異議なし。

#### 議長

異議なしということで、議題2については、原案のとおり承認させていただきました。

それでは、協議事項は以上となりますので、これにて議長を降りさせていただきます。皆様には慎重審議をしていただきまして、ありがとうございました。それでは、事務局に進行をお返しします。

## 6. その他



## 事務局

磯部先生ありがとうございました。

それでは、レジュメの6「その他」とありますが、今後のスケジュールにつきまして、説明をさせていただきます。

## 事務局

今後のスケジュールについてですけれども、事務局としては次回は交通会議ではなく、幹事会の方で対応したいと考えております。大体8月から10月を目途にしたいと考えておりますが、実際、今回ランドブレインさんから提案のあった計画の内容とズレがある所もございますので、その辺は事業者さんと調整しつつ、幹事の方に連絡させていただきたいと思っております。以上でございます。

## 事務局

今説明いたしましたように、ランドブレインさんと調整する中でスケジュールについて詰めて、またご連絡させていただきたいと思っております。それから、これから委託事業として行っていく中で、随時いろんな情報が、あるいは資料が出来てくると思っておりますので、それについては会議あるいは郵送等の方法で皆さまに情報をお知らせする形で持っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

全体につきまして、何か質問、ご意見等ございますでしょうか。

## 7. 閉会

### 事務局

それでは、慎重審議をしていただきまして、ありがとうございました。これをもちまして平成25年度第2回瑞浪市地域公共交通会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

(午後2時25分閉会)

平成25年7月23日

議事録署名者 西脇弘司